TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
首都大学東京

2018年度 首都大学東京 教育改革推進事業　学長指定課題
主催：大学教育センター / 首都大学東京FD委員会

2018年度　第5回
実際に活用できるアクティブ･ラーニング手法紹介セミナーシリーズ

参加者募集

2019年３月５日（火）
14:00～15:30　1号館206教室

大人数授業でも無理なく双方向性を向上させる授業設計

学生の学習意欲を引き出し、主体的でアクティブな学びを促すためには、先ずは教える側が一方向的な教授方法を見直し、「インタラクティブ（双方向）」な授業をつくっていくことが必要不可欠です。大人数授業でアクティブ･ラーニングを実施するのは無理！と考えてはいませんか？　一方向的な講義になりやすい大人数授業であっても、ミニッツペーパー、個人ワーク、ピアインストラクション、ICT教材の活用等、学生と教員との双方向性を向上させる手法は数多く存在します。本セミナーでは、大人数授業でも無理なく双方向性を向上させる手法を紹介し、授業設計のポイントについて、参加者とともに考えていきます。

講師：尾澤　重知　氏
（早稲田大学　人間科学学術院　准教授）

【講師略歴】
博士（知識科学）。1999年慶應義塾大学環境情報学部卒。2004年北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 博士後期課程修了。安田女子短期大学 保育科 専任講師、大分大学高等教育開発センター 准教授等を経て、2010年4月から現職。教育工学、学習支援、学習科学、協調学習、高等教育等を専門とし、現在、アクティブラーニングにおける学生の授業中の行動と学習プロセスに関する研究を行っている。

- ●参加対象者：首都大学東京の教員（常勤・非常勤を問いません）
- ●参加費：無料
- ●申込方法：下記の担当宛に「第５回ＡＬセミナー申込み」と明記し、３月４日（月）までに事前にメールでお申込みください。
- ●申込先：南大沢キャンパス　教務課教務企画係　担当：宮本
- ●メール：kyomu-kikaku@jmj.tmu.ac.jp
- ●電　話：042－677－2937（直通）/ 1035（南大沢内線）